

(特非) 生活環境ネット C&C

リサイクルプラザ活性化ネットワーク

ヒアリング調査
(目標: 10 施設) **12 施設**

情報誌の送付
(目標: 272 か所) **443 部**

活動の全体目標
に対する達成度 **80%**



アンケート調査内容検討委員会の開催

◆成果と工夫したポイント

●成果

- ・全国のリサイクルプラザの実態が明らかになる。
- ・モデル地域における課題と改善方向が明らかになり、2 種類以上の新規講座の立ち上げを行うことができる。
- ・全国のリサイクルプラザの活動が活発になる。

●工夫

ヒアリング施設の選定にあたっては、地域を分けるとともに、「直営」「委託」のバランスに留意した。

課 題

国庫補助対象となってから 20 数年が経過し、利用者の固定化、活動のマンネリ化がみられる、リサイクルプラザの活動の活性化を図るために、全国の活動情報の共有化を図る。

目 標

アンケート調査やヒアリング調査を通して、全国のリサイクルプラザの実態を明らかにするとともに、モデル地域における具体的な改善方向を検討することとし、それをもって全国のリサイクルプラザの活動が活発になる。

活動内容

- ①文献調査、アンケート調査 (281 施設)、ヒアリング調査 (12 施設) を実施して、実態を把握する。
- ②モデル地域において、全国データーやアンケート調査、ヒアリング調査と比較検討することにより課題を抽出し、具体的な改善策を検討する。
- ③以上の結果から、リサイクルプラザの現状と今後の在り方を示した情報誌 (リサイクルプラザの今とこれから) を作成し、全国のリサイクルプラザや都道府県の担当者などに提供する。

達成できなかったこと

自治体廃棄物部門内部の連携体制(ハード部門とソフト部門) が必ずしも円滑でなかったこともあり、リサイクルプラザの飛躍的な活性化を誘導することができていない。

今後の展望

廃棄物処理計画の中に活動方針を記述したり、運営マニュアルを策定することによって活性化を実現したい。



蔵戸田衛生センターの
斬新な試みを取材